

“猪名川(藻川)のヒメボタル幼虫観察会”を実施しました ～ヒメボタルの幼虫を観察しよう！～

～猪名川河川事務所～

神崎川水質汚濁防止連絡協議会猪名川分科会(事務局:猪名川河川事務所)の主催で、『猪名川(藻川)のヒメボタル幼虫観察会』を、流域の団体及び一般募集した市民と一緒に実施しました。今回採取したヒメボタルの幼虫は通常の生息状況に比べ多いもので、今後も貴重な生息環境を維持できるよう配慮していきたいと考えています。

概要	■日時：(設置)平成29年11月24日(金) 15時～17時 (回収)平成29年12月 2日(土) 13時～16時
	■場所：猪名川公園付近 猪名川3.4KP
	■内容：ヒメボタルの幼虫採集と観察会
	■主催：神崎川水質汚濁防止連絡協議会 猪名川分科会
	■協力団体：兵庫県立人と自然の博物館、大阪府立刀根山高等学校生物エコ部、池田・人と自然の会、猪名川ヒメボタルの会、猪名川流域ひめぼたるネットワーク、自然と文化の森協会
	■参加人数：(設置)合計20人 (回収)合計30人

調査結果

【トラップ設置】

参加者には、トラップ作成・設置を体験していただきました。トラップは、直径3cmほどのフィルムケースに穴をあけ、中に冷凍タニシを入れ、目印の紐を取り付けたものです。全部で150個仕掛けました。



トラップ作成



トラップ設置



トラップ

【トラップ回収】

トラップを回収して開けていきました。ムカデやダンゴムシ、ゴミムシに紛れて、ヒメボタルの幼虫もいました。参加者のがんばりで150個のトラップをすべて回収し、7匹もヒメボタルの幼虫を採集することができました。



トラップ回収



幼虫採集



観察会

【観察会】

大阪府立刀根山高等学校生物エコ部さんが飼育している猪名川流域のゲンジホタルとヘイケホタルと採集したヒメボタルを見比べながら観察を行いました。

その後、振り返りとして、兵庫県立人と自然の博物館の八木主任研究員様からヒメボタルの生態についてお話いただき、各団体の夏の観察会の実施結果を発表して頂きました。



振り返り



採取した幼虫

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

